

下痢の原因はさまざま。

感染症だけでも、
疑うべき病原体は
たくさんあります。



遺伝子レベルでの病原体検査をご紹介します。

主要な病原体の遺伝子を検出する検査

犬下痢パネル PCR 検査

どんな検査ですか？

PCR 検査とは、検体中に含まれる微量の遺伝子を増幅して検出することが可能なテクノロジーです。

犬下痢パネル PCR 検査は、糞便中から下痢の原因となりうる主要な病原体の遺伝子を検出するもので、寄生虫、細菌、ウイルスの遺伝子の有無を一度で確認することが可能です。

今までの検査ではこれらを同時に検出することは難しかったため、とても効率的な検査といえます。

この検査は何に役立つの？

- 下痢の原因は様々です。感染症が疑われる場合は、下痢の原因となる病原体を特定することで、よりの確な治療が可能となります。またこの検査は、感染症以外の原因が疑われる場合でも本当に感染症ではないのかを確認するために有効です。

便の採取

病院で採取も可能ですが、自宅で採取する場合は、できるだけ新しい便を病院に持参してください。容器の指定のない場合は、密閉できる容器やビニール袋などに入れましょう。できるだけ涼しい状態(冷凍不可)で保存します。便の量は親指程度で充分です。





検出可能な犬の病原体

寄生虫	細菌	ウイルス
<ul style="list-style-type: none">● ジアルジア● クリプトスポリジウム	<ul style="list-style-type: none">● カンピロバクター● サルモネラ● クロストリジウム	<ul style="list-style-type: none">● 犬コロナウイルス● 犬ジステンパーウイルス● 犬パルボウイルス